

CHARGING APPARATUS

Publication number: JP6014474

Publication date: 1994-01-21

Inventor: SATO SHOJIRO; UMETSU KOJI; SASAKI MASAYOSHI

Applicant: SONY CORP

Classification:

- International: H02J7/10; H02J7/10; (IPC1-7): H02J7/10

- European:

Application number: JP19920188775 19920623

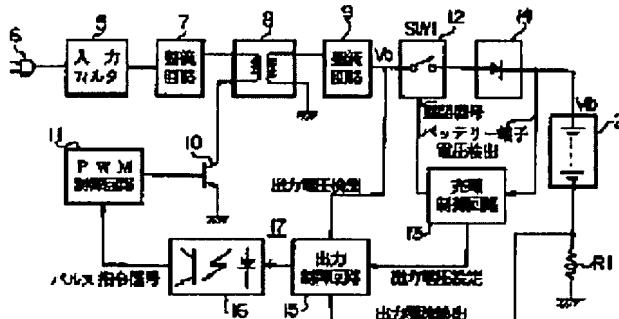
Priority number(s): JP19920188775 19920623

[Report a data error here](#)

Abstract of JP6014474

PURPOSE: To suppress the peak value of a current flowing through a circuit at the starting time of charging to a preset constant value or less in a charging apparatus.

CONSTITUTION: The terminal voltage of a battery is detected with a charge control circuit 13. When the charging state is not set, a charging switch 12 is turned OFF. Then, an output-voltage setting signal is outputted so that the charge output voltage becomes the battery terminal voltage or less. An output control circuit 15 supplies a pulse command signal (a), which controls the duty ratio of a voltage to be supplied into a power MOSFET 10, into a PWM control circuit 11 based on the output-voltage setting signal. Thus, the charge output voltage is made lower than the battery terminal voltage. Thereafter, the charge control circuit 13 turns on the charging switch 12 so as to set a constant-current charging state.



特開平6-14474

(43)公開日 平成6年(1994)1月21日

(51)Int.Cl.⁵

H 02 J 7/10

識別記号 庁内整理番号

H 9060-5G

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全5頁)

(21)出願番号 特願平4-188775

(22)出願日 平成4年(1992)6月23日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 佐藤 正治郎

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(72)発明者 梅津 浩二

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(72)発明者 笹木 真義

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

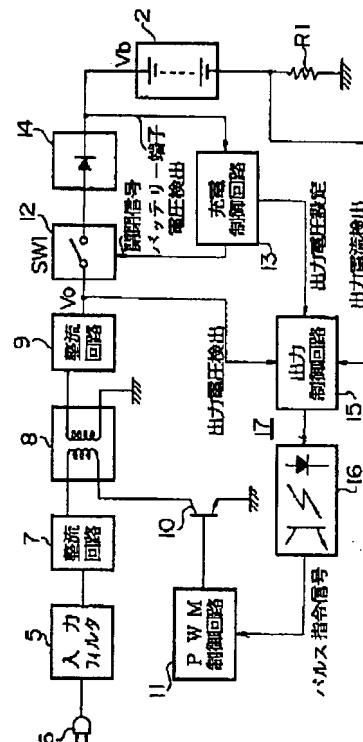
(74)代理人 弁理士 高橋 光男

(54)【発明の名称】充電装置

(57)【要約】

【目的】充電装置において、充電開始時に回路に流れ
る電流のピーク値を定電流設定値以下に抑える。

【構成】充電制御回路13によってバッテリの端子電
圧を検出し、充電状態でなければ、充電スイッチ12を
オフし、次いで充電出力電圧がバッテリの端子電圧以下
になるように出力電圧設定信号を出力する。出力制御回
路15は、出力電圧設定信号によりパワーMOSFET
10に供給する電圧のデューティ比を制御するパルス指
令信号をPWM制御回路11に供給して充電出力電
圧をバッテリの端子電圧より低くする。その後、充電制
御回路13は、充電スイッチ12をオンし定電流充電状
態に移行させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 2次電池に対して定電圧充電および／又は定電流充電を行う充電装置において、
2次電池の充電状態を検出する検出手段と、
前記2次電池が非充電状態であることが検出されたとき
から定電流充電状態に移行するまでの間に、該2次電池
に印加する充電出力電圧を該2次電池の出力電圧よりも
低くなるように制御する出力電圧制御手段と、
を設けたことを特徴とする充電装置。

【請求項2】 前記充電出力電圧を前記2次電池の出力
電圧よりも低下させたときに前記2次電池から充電出力
電圧供給側に電流が流れるのを防止する逆流防止手段を
設けたことを特徴とする請求項1記載の充電装置。 10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、鉛蓄電池やアルカリ蓄電池等の2次電池の充電を行う定電圧・定電流制御型の充電装置に関する。

【0002】

【從来の技術】 この種の充電装置で鉛電池などの2次電池を充電する場合、定電圧、定電流充電が一般的に行われている。そして、從来の充電装置は、2次電池に対し充電開始前、充電中および充電終了後の全ての期間において常に同一の電圧値に設定して充電を行なうようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上述した從来の充電装置にあっては、2次電池に対して常に同一の電圧値で充電を行なうようになっていたため、定電流充電開始時に大きな突入電流が生じるという問題点があった。この突入電流は一般的に定電流設定値よりも大きな値となるので、使用される部品の定格電流を超ってしまうことと、保護素子が誤動作してしまうことがあり、信頼性の面から難があつた。

【0004】 例えば、図4に示す充電装置の等価回路において、定電圧源1の定電圧設定値 $V_o = 10$ (V)、定電流設定値 $I_{cc} = 1$ (A) とし、また、充電ラインに生ずるインピーダンスとバッテリ2の内部インピーダンスの総和を $Z_1 = 0.5$ (Ω)、また、充電開始前のバッテリ端子電圧 $V_b = 5$ (V) とすると、充電開始直後の突入電流のピーク値は図5に示すように、 $I_{bpk} = 10$ (A) に達する。

【0005】 このように1 (A) の定電流設定値にもかかわらず、ピーク時に10 (A) の電流が流れてしまう。したがって、このピーク時の電流を考慮した部品の選定が必要となる。また、定電流設定値を1 (A)とした条件下で保護回路を設計しても、例えば2 (A) の異常な充電電流が発生した場合に保護動作が働かない。したがって、この点も考慮しなければ信頼性が得られない。

【0006】 そこで本発明は、充電開始時に回路に流れ
る電流のピーク値を定電流設定値以下に抑えることで、
スイッチ素子や整流素子などの部品の低容量化を図ること
ができる、さらに充電電流の異常に対する保護機能を持
たせる場合に、その動作点の最適な設定ができる充電装
置を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的達成のため本発明による充電装置は、2次電池に対して定電圧充電およ
び／又は定電流充電を行う充電装置において、2次電池
の充電状態を検出する検出手段と、前記2次電池が非充
電状態であることが検出されたときから定電流充電状態
に移行するまでの間に、該2次電池に印加する充電出力
電圧を該2次電池の出力電圧よりも低くなるように制御
する出力電圧制御手段と、を設けたことを特徴とする。 10

【0008】 また、好ましい態様として、請求項1記載
の充電装置において、前記充電出力電圧を前記2次電池
の出力電圧よりも低下させたときに前記2次電池から充
電出力電圧供給側に電流が流れるのを防止する逆流防止
手段を設けたことを特徴とする。 20

【0009】

【作用】 請求項1記載の発明では、2次電池が非充電状態である場合に、充電出力電圧が該2次電池の端子電圧よりも低くなるように制御される。そして、定電流充電状態に移行した後に充電出力電圧が端子電圧以上になる
ように制御される。したがって、充電開始時に回路に流
れる電流のピーク値が定電流設定値を超えることがない。

【0010】 請求項2記載の発明では、逆流防止手段によ
りて、2次電池の端子電圧が充電出力電圧より高くな
っても該2次電池から充電装置本体に電流が流れない。
したがって、装置側が2次電池からの逆流によって損傷
を受けることがない。 30

【0011】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明
する。図1は本発明に係る充電装置の一実施例を示すブ
ロック図であり、いわゆるフライバックコンバータ方式
を採用した例である。この図において、5は入力フィル
タであり、電源プラグ6と整流回路7との間に介挿され
ている。整流回路7は交流を脈流に整流するものであ
り、その出力はトランジスタ8を介してもう一方の整流回路
9に供給される。この場合、図示のように、トランジスタ8
の一次側の一方の端に整流回路7の出力端が接続され、
一次側の他方の端にパワーモノラルFET 10のソースが
接続されている。また、トランジスタ8の2次側の一方の端
は整流回路9の入力端に接続され、他方の端は接地され
ている。 40

【0012】 パワーモノラルFET 10は、そのドレイン
が接地され、ゲートにはPWM (Pulse width Modulat
ion) 制御回路11の出力が供給される。そして、この

PWM制御回路11によりパルス幅変調制御が行なわれる。すなわち、PWM制御回路11は供給されるパルス指令信号によりパワーMOSFET10に供給する電圧のデューティ比を制御する。12は充電スイッチであり、その一方の端が上記整流回路9の出力端に接続され、他方の端がダイオード14より構成される逆流保護回路14の入力端に接続されている。この充電スイッチ12は供給される開閉信号により開閉（オン／オフ）動作を行なう。この場合、常時開状態（オフ）になっており、開閉信号が供給された時点では閉状態（オン）になる。開閉信号は充電制御回路13より供給され、オンすることによりバッテリ2への充電が開始される。逆流保護回路14は、上述したようにバッテリ2から装置側へ電流の逆流を防止する。

【0013】バッテリ2の負極側には充電電流検出抵抗R1が介挿されており、この点の電位は出力電流信号として出力制御回路15に入力される。出力制御回路15は整流回路9の出力である充電出力電圧V_oと、バッテリ2を流れる出力電流とをそれぞれ検出し、定電圧・定電流充電制御を行なう。この場合、定電圧設定値は上記充電制御回路13より出力される出力電圧設定信号により変化する。この出力制御回路15より出力されるパルス指令信号はフォトカプラ16を介して上記PWM制御回路11に供給される。

【0014】充電制御回路13は、バッテリ2の端子電圧V_bを検出し、バッテリ2が非充電状態（充電されていない状態）であれば、充電スイッチ12をオフした後、整流回路9からの電出力電圧V_oが充電中のバッテリ2の端子電圧V_bよりも低くなるように出力制御回路15へ出力電圧設定信号を供給する。そして、定電流充電状態に移行すると、充電スイッチ12をオンし、次いで出力電圧設定信号を変化させて充電出力電圧V_oを充電許容電圧の最大値まで上昇させる。この時、出力制御回路15では定電流制御が働くため、定電流設定値以上の電流が流れることはない。充電終了時には充電スイッチ12をオフし、充電出力電圧V_oをバッテリ2の端子電圧V_bより低くなるように制御する。

【0015】上記充電制御回路13は検出手段に対応する。また、上記トランジスタ8、パワーMOSFET10、PWM制御回路11、充電制御回路13、出力制御回路15およびホトカプラ16は出力電圧制御手段17を構成する。

【0016】このような構成の充電装置において、電源プラグ6を電源コンセントに挿入すると、まず、充電制御回路13によって端子電圧V_bが検出される。そして、検出された端子電圧V_bの値によりバッテリ2が非充電状態であれば、充電スイッチ12がオンからオフに設定される。そして、この直後、充電制御回路13より充電出力電圧V_oを端子電圧V_bよりも低くするための出力電圧設定信号が出力され、出力制御回路15に供給さ

れる。

【0017】これにより、出力制御回路15から出力電圧設定信号に応じたパルス指令信号が作成され、PWM制御回路11に供給される。そして、PWM制御回路11によってパルス指令信号に応じたデューティ比の電圧がパワーMOSFET10に供給され、整流回路9からバッテリ2の端子電圧V_bよりも低い値の充電出力電圧V_oが outputされる。この場合、逆流保護回路14によりバッテリ2から装置側に電流が流れることはない。

【0018】充電出力電圧V_oが端子電圧V_bよりも低く設定された後、充電スイッチ12に開閉信号が供給され、同スイッチ12がオンする。これにより定電流充電状態に移行する。この際、突入電流が生ずることなく定電流充電が開始される。そして、受電スイッチ12がオンした後、充電出力電圧V_oが充電許容電圧の最大値まで上昇する。この時、出力制御回路15では定電流制御が働くため、定電流設定値以上の電流が流れることはない。そして、充電開始から所定期間経過して充電が完了すると、充電スイッチ12がオフし、そして充電出力電圧V_oがバッテリ2の端子電圧V_bよりも低くなるように設定される。なお、この方法によると、例えば充電スイッチ12と並列に微小電流充電用の固定抵抗が接続された場合でも、この固定抵抗の接続を遮断するための第2の充電スイッチを追加することなく、充電電流の遮断が可能である。

【0019】ここで、図2は上記充電動作における充電電流I_b、充電出力電圧V_o及び端子電圧V_bの時間的变化を示すタイムチャートである。この図に示すように、充電開始時には充電出力電圧V_oが端子電圧V_bよりも低く設定されている。そして、充電出力電圧V_oが充電許容電圧の最大値まで上昇されてから充電状態になり、バッテリ2の端子電圧V_bが徐々に上昇して行く。

【0020】一方、図3は従来の充電出力設定を固定した充電装置における充電電流I_b、充電出力電圧V_o及び端子電圧V_bの時間的变化を示すタイムチャートである。この図に示すように、充電開始時から充電出力電圧V_oが端子電圧V_bよりも高く設定されているので、充電開始時に大きな突入電流が生じているのがわかる。

【0021】なお、本発明は、特に2次電池の装着を検出して充電を開始する機能を有する充電装置、2次電池の電圧状態を検出して充電を開始する機能を有する充電装置、および、充電中に電流の遮断を行う機能を有する充電装置に用いて好適である。

【0022】

【発明の効果】本発明によれば、定電流充電状態に移行する前に、充電出力電圧を2次電池の端子電圧よりも低く設定して突入電流を抑えるようにしたので、スイッチ素子や整流素子などの部品の低容量化を図ることができる。また、充電電流の異常に対する保護機能を持たせる場合に、その動作点の最適な設定ができる。

5

6

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る充電装置の一実施例を示すプロック図である。

【図2】同実施例の動作における充電出力電圧、端子電圧および充電電流の経時変化を示すタイムチャートである。

【図3】従来の充電装置の動作における充電出力電圧、端子電圧および充電電流の経時変化を示すタイムチャートである。

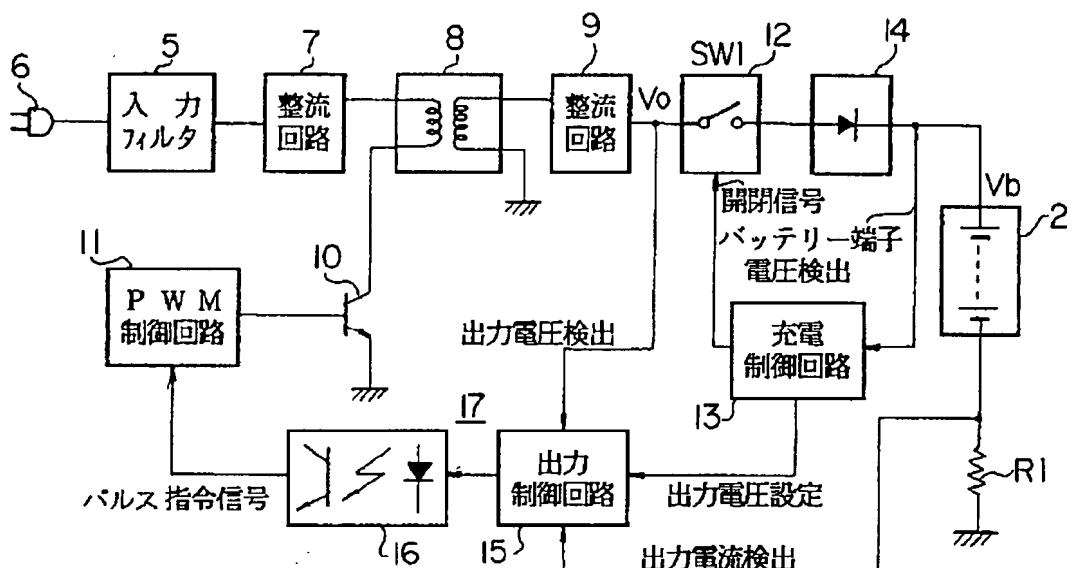
〔図4〕従来の充電装置の等価回路を示す図である。

【図5】従来の充電装置の問題点を説明するための充電電流の経時変化を示すタイムチャートである。

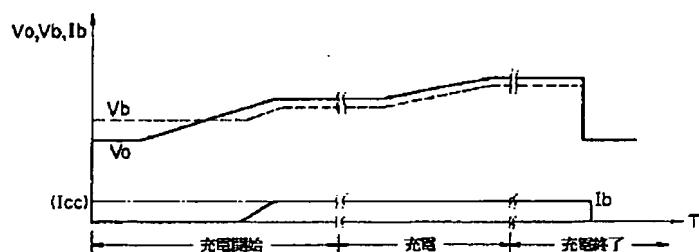
【符号の説明】

- 2 2次電池
 - 7, 9 整流回路
 - 8 トランジスタ
 - 10 パワーMOSFET
 - 11 PWM制御回路
 - 12 充電スイッチ
 - 13 充電制御回路（検出手段）
 - 14 逆流保護回路（逆流防止手段）
 - 15 出力制御回路
 - 16 フォトカプラ
 - 17 出力重圧制御手段

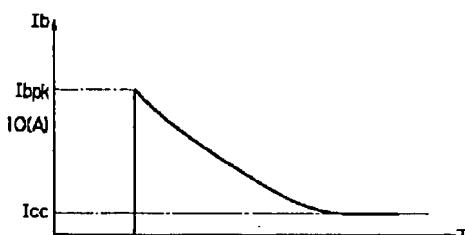
[図1]



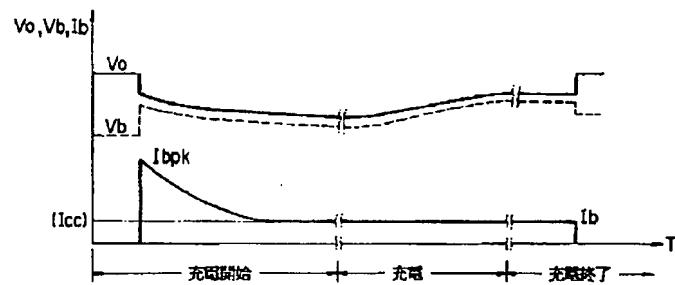
[図2]



[图5]



【図3】



【図4】

